



NO.1446
1月14日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二四四五八
F四三二四四五七

憲法 92 条
及 地方公団体の組織
は、地方公共団体の組織
及び運営に関する事項
を、法律でこれを定める。

元旦宣伝

裏金づくりの真相究明を

日本共産党議員団は、恒例の元旦の街頭宣伝を午前10時から行いました。今年の元旦は、気温が低く冷たい風が頬に刺さるような痛さを感じる厳しい環境下での宣伝でした。

松浦敏司、村椿敏章の両議員は、自民党の「政治と金」の問題、パーティー券での裏金づくりについて誰

がどこに何のために使ったのかも含めて真相究明を求めました。このような事件が起こらないようにするには、企業・団体献金の禁止とパーティー券の禁止をすることで防ぐことができるかと訴えました。

また、岸田政権の進める軍拡路線について、軍拡では平和は守れない、話し合

能登半島地震に救援募金を

1月6日、日本共産党網走市委員会はベーシック乗場店とベーシック橋北店の前で震災の募金を訴えました。募金の訴えを聞いた市民は「大変ですね」と言って募金をしていただきました。2か所で約40分ほどの宣伝でしたが、乗場で3名が北で4名の方から合計で16772円の募金をしていただきました。

能登半島の地震では、3万人以上の住民が停電の中、水や食料が届かない避難生活を強いられ、大変な状況です。引き続き募金を訴えます。ご協力をお願いいたします。



募金をする市民

二十歳のついで 政治を変えよう!

エコーセンターで「二十歳のついで」が行なわれた1月7日、日本共産党網走市委員会は、能登半島地震の募金を訴え、3千円の募金がありました。また、パーティー券の裏

いこそ平和への道である。国民が求めているのは、大軍拡ではなく暮らしを立て直すための政治だと元気がいっぱい、力強く市内各所で訴えました。



市民に訴える松浦村椿両議員

金疑惑の究明と自民党政治のもとで低い賃金や高い学費に苦しんでいる若者の現状を訴え、選挙で希望のものを政治に変えようと訴えました。

自分たちの暮らしと政治が結びついていることを若者にも知らせてもらうためには、大人から働きかけることが大事だと考えます。



20才の晴着姿の若者に訴える参加者

柳瀬 奮闘モロ



今年のお正月は元旦の夕方に能登半島の地震の発生で、マグニチュード7.6最大震度7、津波も発生し6日現在死者126人、安否不明者は210人、避難所には3万人以上が身を寄せています。

いまも記憶に残る地震は、28年前の1月に起きた阪神淡路大震災は早朝配達中でした。13年前の3月には東日本大震災で、議会で質問中に起きて議会が中断、8年前の4月には熊本地震があり、半年前に行政視察に行っていた場所で起きていて、私にとつて、とても印象深く脳裏に焼き付いています。そして、今回の能登半島地震です。

日本は地震列島と言われていますが、大きな地震が起きる間隔が短くなっているようにも感じます。網走は、地震が少ないと思いついていたら間違いです。災害は忘れたころにやってくるというように、いざという時のための備えが大事です。

村 奮闘



能登の地震では、陸路が閉ざされ24地域3千人以上が孤立状態とされています。船も難しいですが、空からは物資は届けられています。学校のグラウンドを利用してヘリコプターで、とにかく物資と人的支援が必要です。孤立住民の方が必死になって頑張っている一方で、7日に千葉県習志野演習場で降下訓練始めが行われました。55人が搭乗可能、20tの積荷を運べるヘリをもっている自衛隊は、災害救助を忘れてはなりません。

議会運営委員会を忘れ、議会となったことについて、「議員が仕事を忘れていたなどということは、議員の資格が問われる。それを許してしまっている議会が良いのか。議会の体質に問題があるのでは」と指摘する市民の声がありました。議員個人の責任だけで済ませられるものではないということです。議会は市長に対して市政の問題を調査し指摘して、市政をただす役割があります。忘れてたで済まされる問題ではないことを肝に銘じて今年も頑張ります。

流水

令和6年能登半島地震の一報でのんびりとは過ごせないお正月となりました。テレビからアナウンサーが緊迫した「逃げてください」の叫ぶ声に胸が苦しくなりました。金沢市に在学中の三男はたまたま帰省中で被災をまぬがれましたが、6日に戻ると電子レンジが棚から落ちてたそうです。▼災害が少なくと言われている網走ですが、もし、真冬に地震が起きて、停電になったら、もし流水の海で津波が起きたらどうなっていたでしょう。調べてみると道の浜中町では1952年に十勝沖地震で津波が発生し、流水や漁船が押し寄せ306棟の住宅が被害を受けたといわれています。断水、停電、ガスも止まる。トイレの水が流れない。▼防災ラジオが年齢制限なく貸し出されたので、情報と少しの明かりは大丈夫です。温かさは薪ストーブやロケットストーブと燃料のたき木を集める。お米と水と乾物、味噌、水は雪を融かして作るうと、たくさんのお米を考えさせられます。そして、今自分にできることは、被災者の支援のために、募金を集めるために、歩くことだと思えます。

直ちゃん